

事務事業名	市民意識調査事業		会計	一般会計	実施区分	継続
			事業種別	経常	開始	終了
H29作成課等名	秘書広報課	H29係等名	広報広聴係	H28担当課等名	広報情報課	
基本計画上の位置づけ	政策	9	市民と共に進める行政経営			
	施策	92	情報共有の促進			
目的	対象(誰・何を)	満20歳以上80歳未満の市民			指標名及び単位	28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	市民の生活意識や市政に対する関心・期待などを把握し、行政の様々な施策の基礎資料とする。			対象指標	飯田市の満20歳以上80歳未満の市民人口(人) 72746
	向上させたい上位施策の成果指標	市民が知りたい行政の情報が十分に入手できると感じている市民の割合(%)				
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績
	成果指標	有効回収件数(件)			1000	1017
	定性目標				28年度計画	28年度実績
事業概要	アンケートによる市民意識調査					
	<ol style="list-style-type: none"> 1 調査地域 飯田市全域 2 対象者 市内在住の満20歳以上80歳未満の市民 3 対象者数 2,000人 4 抽出方法 住民基本台帳から地区別・年代別・男女別比率により無作為抽出 5 調査方法 質問紙を郵送配布し回収も郵送により行う 6 調査集計 調査項目集計等ノウハウを持つ業者に一部委託して行う 					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民意識調査の実施(2月実施) 「暮らしやすいまちづくり」に向けて、市の政策や施策について感じていることや、市民の生活実態や問題意識を把握する(調査対象者 2,000人) 2 市民の声 受付対応 (1) やらまいか提言(投書、メール、郵送等) (2) 市政への意見、苦情、相談(来庁、郵送、電話、メール、市ウェブサイト問合せ) 			<ol style="list-style-type: none"> 1 アンケート回収数 アンケート回収率 2 (1) 提言件数 (2) 意見等の件数 		<ol style="list-style-type: none"> 1 976件 48.7% 2 (1) 71件 (2) 随時
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		544	589	552	0	
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
一般財源		544	589	552		
人件費計(千円)②		572	0	572	0	
正規職員所要時間		160		160		
臨時職員所要時間						
総事業費①+②		1,116	589	1,124	0	
事業内容・目標達成状況の振り返り		回収率は48.7%となり前年度(50.9%)より回答率が僅かだが減少した。行政アンケートを語った詐欺事件がテレビで報道された影響や国勢調査など他に大きな世論調査が無かったため、回答が減少したと考えられる。電子回答は71件ではほぼ前年同様の回答件数となり、一定程度定着したと考えられる。				
改革改善の考え方	①問題点	回収率を高めつつ、各課における分析・見解を、市の課題として共通認識する必要がある。いいだ未来デザイン2028の成果指標として市民意識調査の結果を使用しないこととなり、調査項目について再考する必要がある。				
	②改革提案	電子回答は作成と提出が容易であることをPRして浸透させ、回収率を高める。各課における分析・見解を集約し、グループウェア等による共有化を図る。年内に各項目を担当している部課と協議し、新たな市民意識調査を実施する。				